

# 栄養豊富な緑黄色野菜 ピーマンの カルシウム強化栽培！

体質強化！品質向上！

食味向上！鮮度保持！



ピーマンにはコレステロールの吸収を防ぐ食物繊維が豊富に含み、  
ビタミンCやカロチンなど機能性成分も多く含んだ栄養価の高い  
緑黄色野菜！！

【硫酸カルシウム肥料】



# カルゲン®

【粉状・粒状】 15 kg入り

## ピーマン栽培の特長

- ◆ 栽培適性の土壌 pH は 6.0~6.5 の弱酸性
- ◆ 土壌は有機質に富み、保水力があり、排水が良く、耕土の深い圃場を好む
- ◆ 栽培適温は日中 25℃~30℃、夜温 15℃~20℃で 10℃以下では生育が止まる
- ◆ 品質・収量は適正な水分と肥培管理が重要で樹勢が弱るとウドンコ病発生要因となる
- ◆ 他の果菜類と比べ多肥多灌水を好むが、多湿管理になると疫病などの病気が発生しやすくなるので注意する
- ◆ カルシウムが不足すると芯止まり・葉先枯れ・尻腐れ・スジ腐れ等の発生要因となる
- ◆ ホウ素欠乏が発生する状況においてはカルシウムの吸収が著しく低下するので注意する

## 養分吸収量（収穫 1 トン当たり） kg

チッソ N	リン酸 P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	カリ K <sub>2</sub> O	カルシウム Ca	マグネシウム Mg
5.8	1.1	7.4	2.5	0.9

## カルゲンとは・・・

- ◆ カルシウムとイオウが結びついた石膏（農業用石膏）を主原料に製造したカルシウム特殊肥料
- ◆ 酸性のカルシウム肥料ですから土壌の pH が上昇することなく、連用することで土壌を団粒化して、有効微生物の繁殖を促す
- ◆ 石灰類（炭カル）に比べ約 170 倍水に溶けやすく、作物に吸収されやすい水溶性のカルシウム肥料
- ◆ 作物が健全に生育するために必要なカルシウムの養分補給に最適
- ◆ 特に、窒素過剰による生育障害を軽減（拮抗作用）

## カルゲン施用量（当社推奨基準）

	施用方法	施用量	備考
元 肥	全面土壌混和	4~6 袋/10 a	定植前（他の肥料と同時施用）
追 肥 1	畝間に施用	2 袋/10 a	収穫開始頃
追 肥 2	土壌灌水・葉面散布 （ネオカル水和剤又は カルゲンβ液剤）	100~150ℓ/10a 1,000 倍液	定期的に葉面散布 農薬と混用可能 （銅剤・アルカリ剤を除く）

☆ 上記の施用量は標準です。土壌診断を基準に施用量を増減してください。

☆ 酸性土壌の場合は石灰類等を加用してください。

☆ 詳しくは、お近くの販売店または営農指導員の方へお尋ねください。

《総販売元》



吉野石膏販売株式会社